



ひがし野

教育目標
 真理(まこと)を求める生徒
 情操(こころ)を深める生徒
 身体(からだ)を鍛える生徒

高め合い 磨き合い 感動し合い
 「愛」いっぱいの真岡東中



保護者会 (4/30) お世話になりました

4月30日に実施しました授業参観および学年保護者会におきましては、多数の保護者の方々にご来校いただき、大変ありがとうございました。特に、授業参観は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、1校時から分散しての参観をお願いしましたところ、ご協力いただきありがとうございました。また、各学年ごとの保護者会にも、多数の保護者の方々にご参加いただき、役員決定や学年からの連絡事項などを行うことができました。

その学年保護者会において、貴重なお時間をいただき、校長としての挨拶をさせていただきました。「全ては子どもたちのために」強い信念を持って、全職員の力を結集して教育活動に取り組むことをお伝えしました。以下、その中の骨子をお伝えいたします。どうぞご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

1. 一斉授業の中でも、理解が不十分な生徒を見落とすことのない、個に応じたきめ細かな学習指導を行います。
2. コミュニティスクールに向けた、学校支援ボランティアへのご協力をお願いします。
3. 学校は「いじめ撲滅」に向け、厳格な指導を根気よく行います。ご家庭でも、「いじめを絶対にしない」こととお話しいただくと共に、人間関係で悩んだ時は、速やかに学校にご相談下さい。
4. 「教師の目」と「親の目」は時として異なります。しかし、子どもたちを大切に思う気持ちは同じです。互いを理解し合い、十分な会話をお願いします。

芳賀郡市春季各種大会

5月14日・15に、1年ぶりとなる郡市春季各種大会が行われました。(陸上は、4/27)

陸上部・剣道部・卓球部・バドミントン部が県大会への出場権を獲得しました。

各部の応援に回りましたが、どの部の生徒も爽やかな挨拶を交わしてくれ、スポーツ選手としての精神力を身に付けたことを感じさせてくれました。

練習試合や各種大会が実施されなかった中での久しぶりの大会であり、実力を十分に発揮できたとは言いがたい大会となったようです。しかし、3年生にとっては、残すところ、夏の総体のみとなりました。悔いの残らない、3年間の部活動の成果を発揮してくれることを願います。

以下、全校朝会で話した内容をご紹介します。

運命は変えられる

何か一つ、ちょっとだけ
 違った行動や考えで、
 運命や未来って
 簡単に変わる

白血病を克服して、東京オリンピックの出場権を獲得した、水泳の池江璃花子選手の言葉です。一度はあきらめかけた東京オリンピック。しかし、自分自身の意思で、ちょっとの負荷をかけた練習をしていくうちに、自分自身の運命が変わったと語っています。

部活動も、限られた時間での練習ですが、しっかりした目的をもち、信念を持って取り組めば、必ず未来が変わる。つまり、自分の望む結果を得ることができると話しました。そして、私たち教師は、生徒の幸せを作り出すことが仕事。だからこそ、できることならば悔し涙ではなく、喜びの涙、達成した充実の涙を見たいことを伝えました。



交通ルールを守る

本校にとって長年の懸案事項であった自転車通学の範囲指定について、自転車小屋が増設されたことにより、希望者全員を許可することができました。しかし、このころ、地域の方から、本校生徒の自転車の乗り方が危険とご指摘が相次いでおります。「一時停止をする」「並進をしない」「ヘルメットをきちんと身に付ける」等のルールは、全て生徒たちの命を守るためのものです。

ご家庭でも、自転車に乗る際の交通ルールについて、再確認していただきたいと思っております。

交通事故によって、大切な命が奪われることだけは、大人の責任において避けなければなりません。

